

## 発 言 通 告 書 （ 質 問 ）

次のとおり、①. 一般質問 2. 施政方針に対する質問 3. 緊急質問) の通告をいたします。

平成 21年 2月 日

富士市議会議長様

富士市議会議員 小池 智明 印

受 付 No. .... 平成 年 月 日 午(前・後) 時 分 受理者
---

( 小池智明議員 2 -1 )

発言項目	「初動期のまちづくり」を支援するしくみの導入について	
	要 旨 (具体的に記入してください)	答弁を求める者
	<p>市民・企業・行政が、それぞれの役割を分担しつつ連携して取り組む「協働のまちづくり」が言われて久しい。</p> <p>本年度から策定作業が始まった第五次富士市総合計画においても、計画策定の基本方針に「市民、企業が主体性を発揮できるものであること」が明確に謳われ、「協働」を前面に打ち出している。</p> <p>こうした中、昨年7月から12月にかけて各地区のまちづくり推進会議が中心となり、10年後に目指す地区の将来像と、それを実現するための基本方針や必要なソフト・ハード事業を提案する「まちづくり提案書」の策定作業が、短い期間の中で精力的に行われた。</p> <p>合併を契機にまちづくり推進会議を設立した富士川地域の2地区でも現在策定作業に取り組んでおり、3月には提案がまとまると聞いている。</p> <p>この各地区でとりまとめた「まちづくり提案書」は、地域住民の皆さんの思いが込められ、市民主役のまちづくりを推進する第一歩となるもので、大切にし、大きく育てていくべき「まちづくりの原石」であると考えます。</p> <p>また、このとりまとめにあたっては、事務局を各地区のまちづくりセンターが担当したが、「地区住民と行政の協働によるまちづくりの拠点」を目指すまちづくりセンターの最初の大きな仕事となったのではないかと考える。</p>	<p>市長及び担当部長</p>

<p>こうした中で、以下の4点について質問する。</p> <p>(1) 「まちづくり提案書」の策定経過、各地区から提出された提案内容の概要、特徴ある提案（ソフト、ハード部門）は、どのように把握しているか</p> <p>(2) 新総合計画（五次総）の作成・とりまとめにあたり、これらの提案は、どのように整理・検討し、計画に反映したり、地区に回答していくのか</p> <p>(3) 地域発意のさまざまなまちづくりへの提案や取り組みに対し、担当の市職員チームを派遣し相談に乗ったり、まちづくりのテーマに応じた勉強会の講師を派遣したり、地域としての取り組み計画をまとめる上で専門的な技術面や合意形成の面でサポートするコンサルタントを派遣するような、「地域主体の初動期のまちづくり」の動きを支援するしくみが必要と考えるがいかがか（提案）</p> <p>(4) またそうした取り組みの事務局を、地区まちづくりセンターが担っていくべきと考えるがいかがか（提案）</p>	<p>市長及び担当部長</p>
---	-----------------